



工大祭建築プロジェクト2026

工大祭Architects

About Us

工大祭Architects

環境・社会理工学院 建築学系 学士4年生を主体に、
設計から施工、監理、工大祭期間中の運営を行う団体。

—昨年、昨年度開催「工大祭アートストリートプロジェクト」を引き継ぎ、
今年度も、本学の全学生のための出展、出演の場をデザイン、実現する。

Our Legacy

「工大祭アーストリートプロジェクト2024」



Our Legacy

「工大祭アーストリートプロジェクト2025」



Voices

普段とは違う層のお客さんに
音楽を届けることが出来た。

音楽系サークル 演奏にて参加

Artists

少ないスタッフ数でも滞りなく開催できた。
研究所よりお客さんが来やすかった。

ELSI ワークショップにて参加

芸術や鑑賞という行為を自問自答し発表する点で、
濃密で価値ある企画だった。
他のアーティストさんから刺激をうけた。
多くの来場者の方に観ていただけて良かった。

個人 書道作品展示で参加

建築とアートの融合。

気軽に立ち寄れる空間。

とても独創的で素晴らしい企画でした。

通りすがりの人を巻き込んで

楽しませる

とても良い企画だと思いました。

Visitors

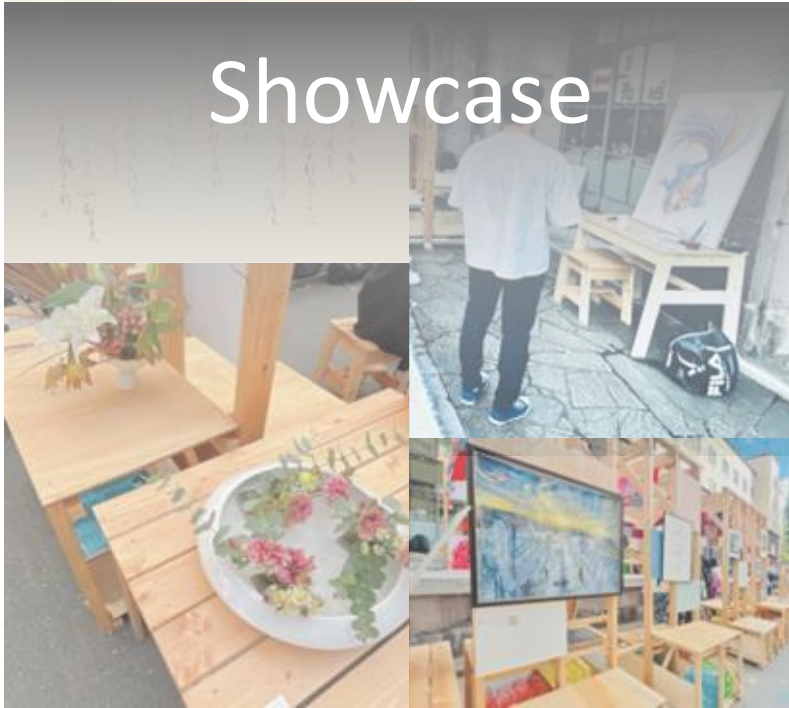
音楽の演奏が楽しかった。

来年も聴きたい。

当日の来場者・参加者アンケートより抜粋

Our Purpose

Showcase



学生による制作物を出展
本学で身につける力を可視化
来場者へのアピールを行う

Collaborate



サークルや研究室と連携
他の大学祭と一線を画す展示企画で
大学全体のイメージアップを図る

Advance



座学で得る知識を応用し
設計～運営までする経験から
建築学生のレベルアップを図る

Concept



設計製図の課題で
学んだ内容を設計に取り入れ
来場者に発信

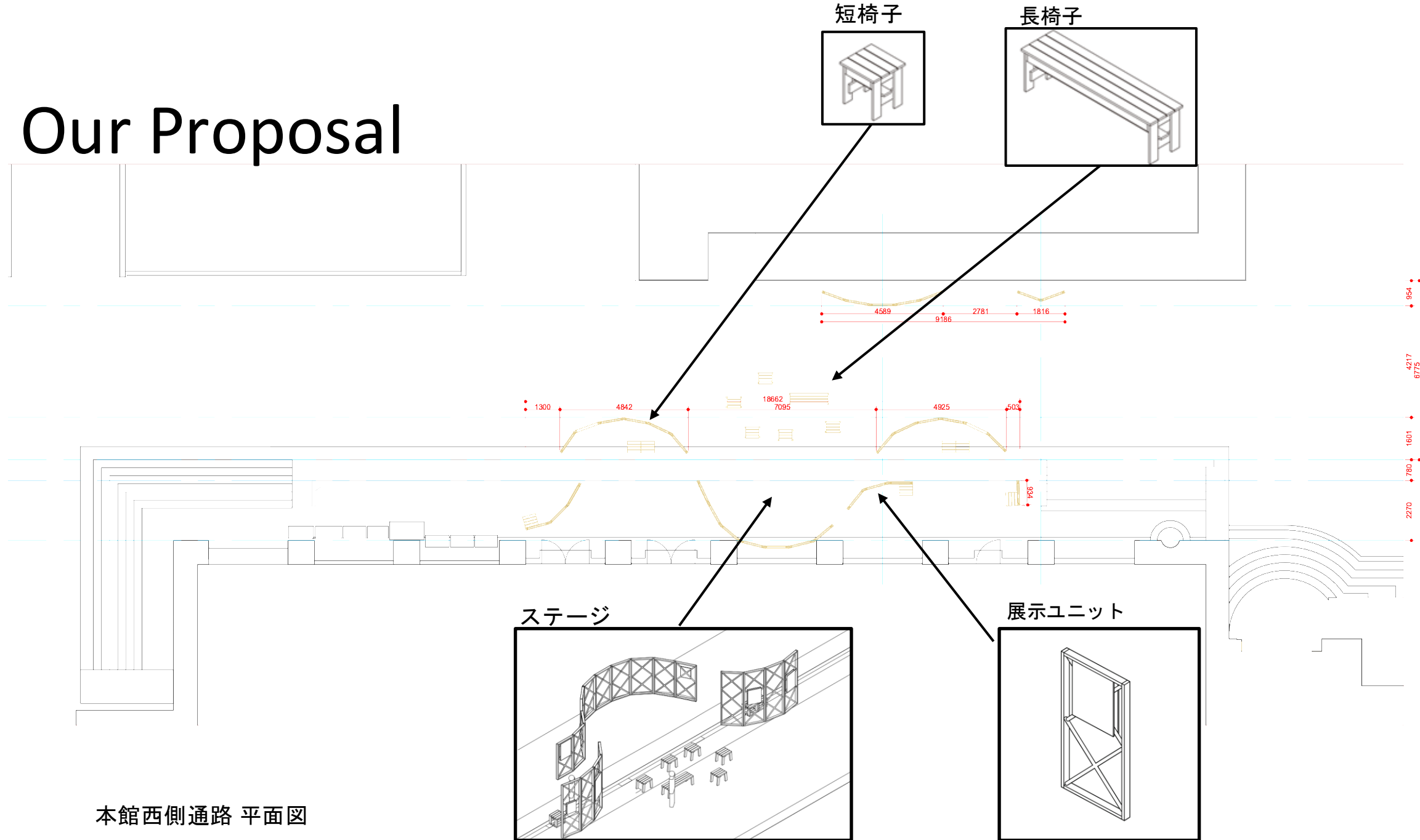


工大祭実行委員IZIと連携して
パフォーマンスの場を
より拡大・柔軟化する



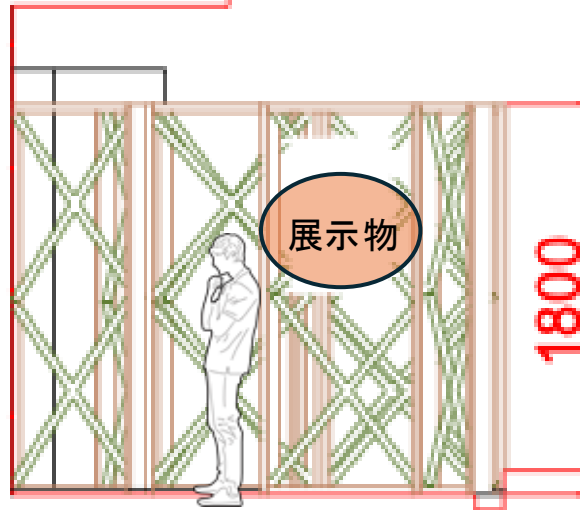
緑ヶ丘の竹林から間伐・
昨年度資材の再利用によって
資材の効率利用を目指す

Our Proposal

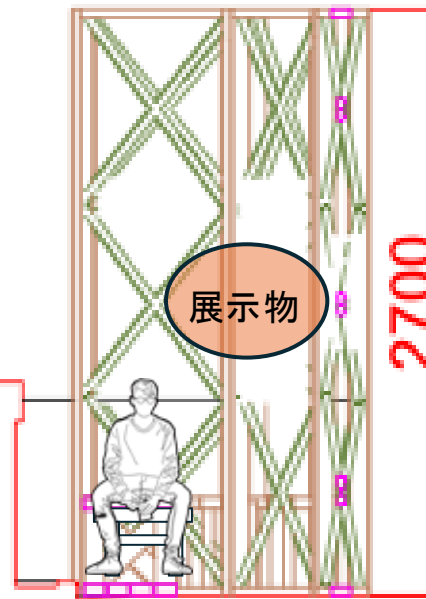


Our Proposal

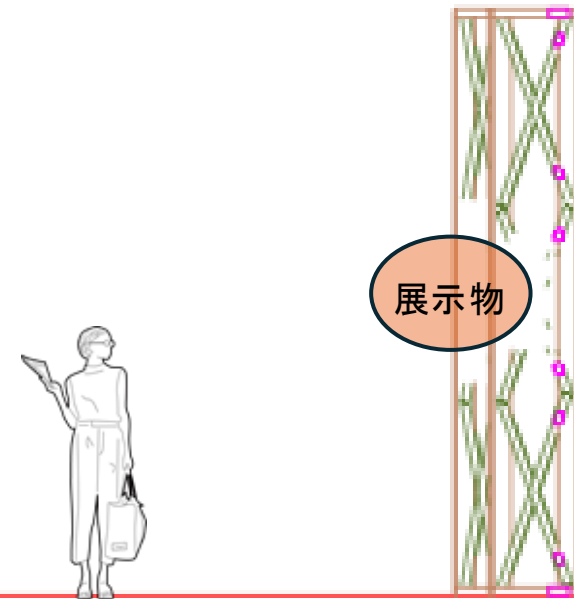
本館
第二食堂



Rest Space

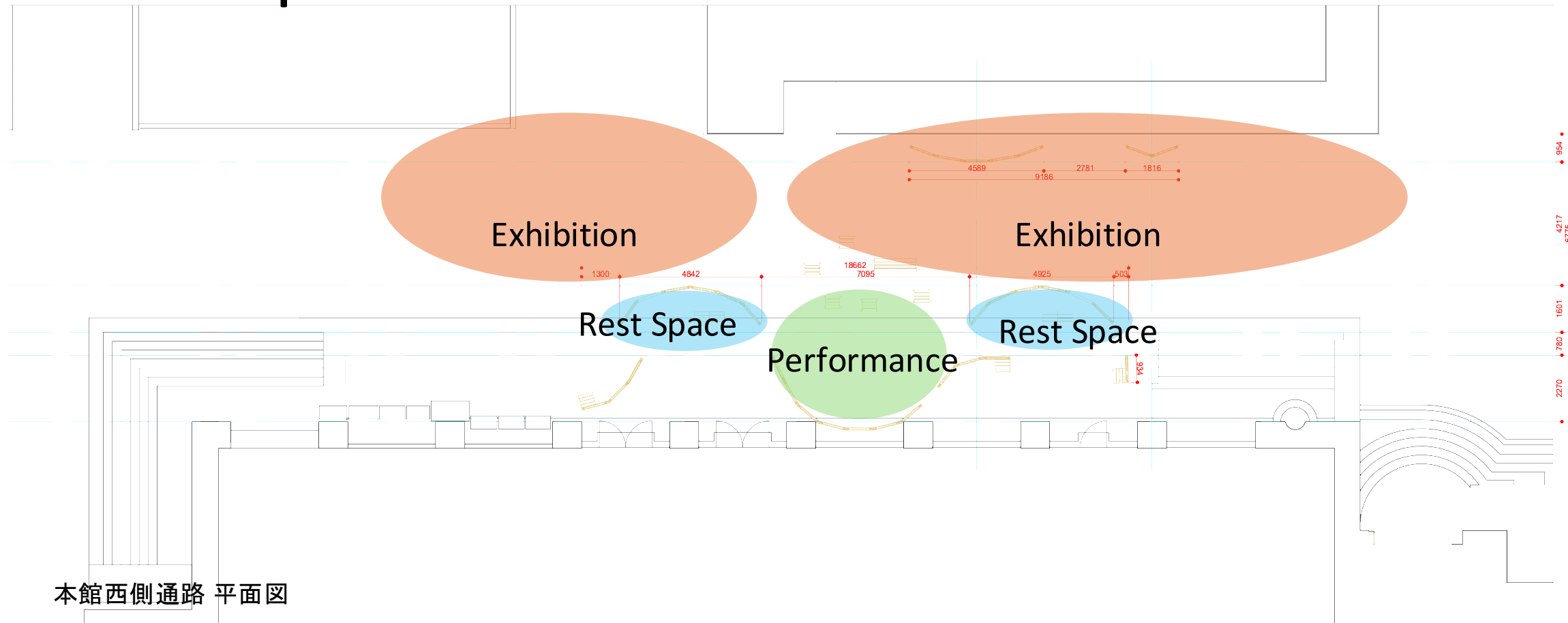


Exhibition

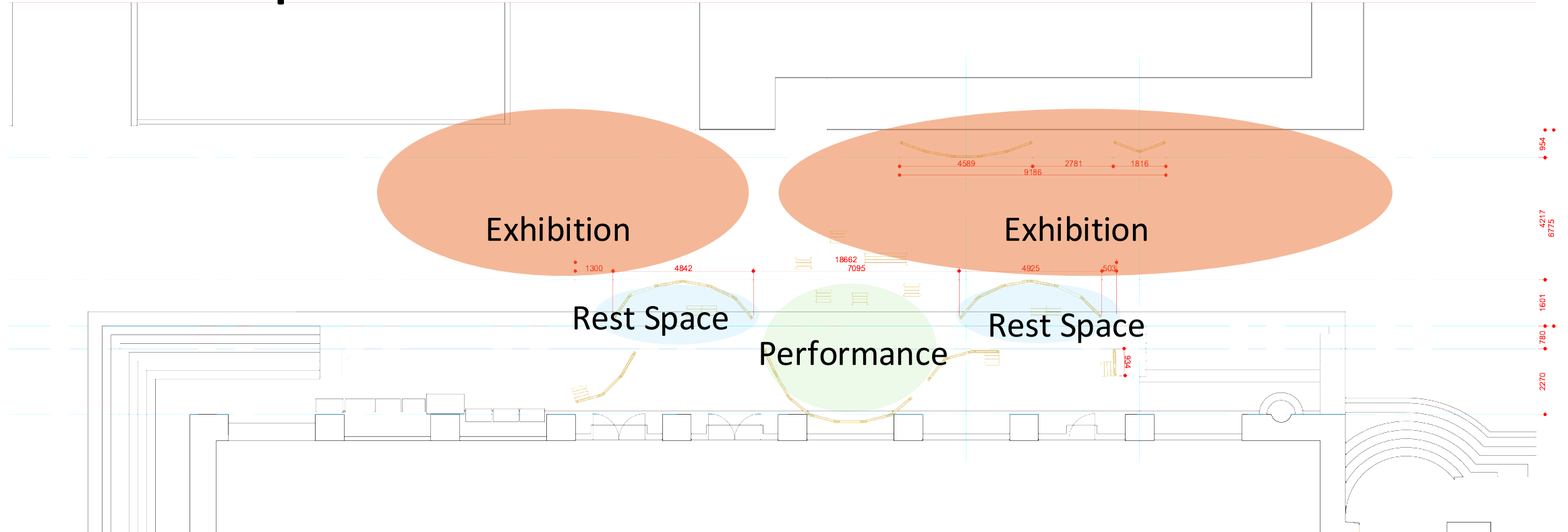


通路に屏風型の展示ユニットを配置し、
それぞれに作品が展示される。
展示ユニットは囲われた休憩スペースを
形成するとともに、
壇上にステージを作り出す。

Our Proposal



Our Proposal

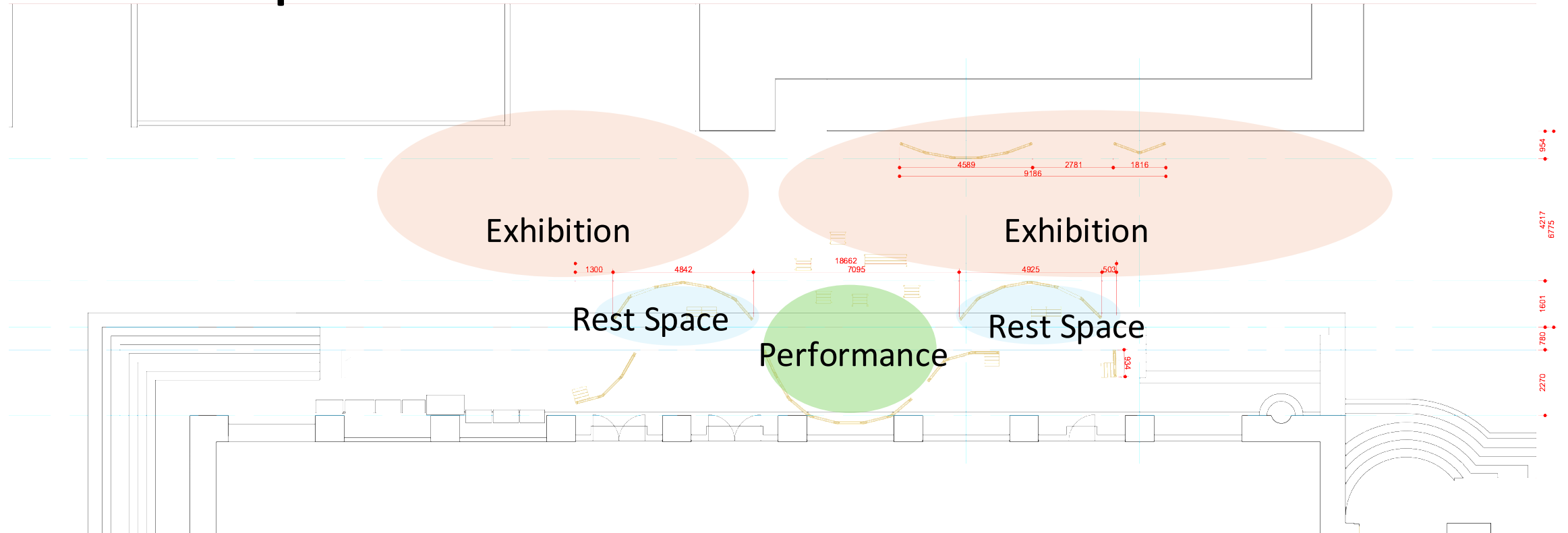


Exhibition

工大祭期間中の通路となっている第二食堂前に、展示空間を構築する。

出展物は本学の学生から広く募集し、建築学生のみならず東京科学大学生の持つ力を不特定多数の来場者にアピールする。

Our Proposal

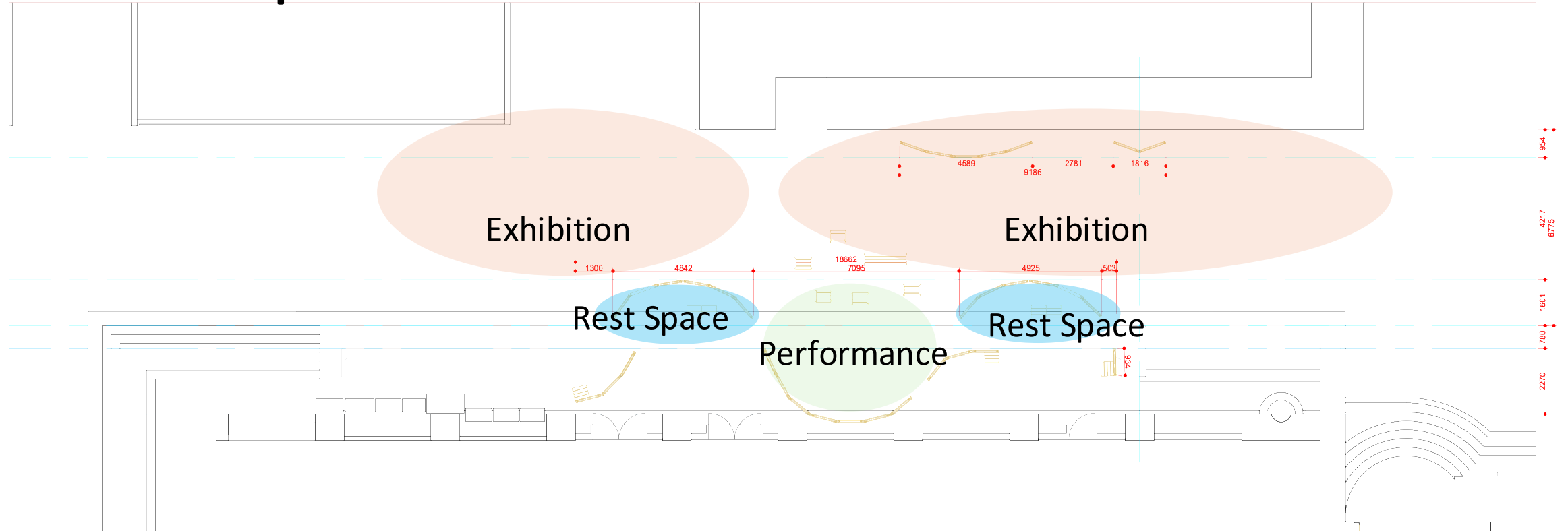


Performance

連続した展示空間の途中に、格式張らないステージを併設する。

観衆との距離が近い舞台は、等身大の本学に生きる学生の印象を来場者に与えて、大学のイメージアップにつながる。

Our Proposal



Rest Space

通路とユニットによって生じるスペースを利用して、来場者のための休息スペースを設ける。周囲と連続でありながら流速の穏やかなこの空間は、学生の自己表現の場に図らずも長時間来場者が滞在し、本学に対する良い印象をより深いものとする。



Our Proposal

展示ユニット

木材・竹で作成した**展示ユニット**を並べ、裏・表にパネルを設置することで展示空間を作る。

緑ヶ丘周辺の竹林から間伐した材を一部使い、資源効率を高くする。

固定・接着には紙とのりを混合したセルロースマシェを使用する。施工・解体を意識した設計を行う。

